つながり 西神ニュータウン9条の会

November2026
No.347

年老いても９条を守る運動を推し進めよう

高市内閣が発足した２０２６年もあとわずかになってきました。憲法９条を変えようとする動きも強まり、私たちの運動もよりいっそう広がりが求められてきています。そんなこの１年に、平野中学校で教師をしていた妻の姉の配偶者が亡くなった。９１歳だった。若い頃は長田区の中学で同和教育を熱心に旺盛に勤めていて多くの子供たちを社会に送り出していた。もちろん、当時から平和や民主主義への関心も高かった。当時長田神社周辺の学校に通っていた私はこんなことを告げられた。「長田商店街を通る湊川から兵庫高校まで橋がない」と。つまり番町の北側を流れる湊川に橋が架かっていない、現在も、「橋のない川」だと。全くの驚きであった。

年老いて、西区へ来てからは西神ニュータウン９条の会の活動には、中心的に参画しなかったがニュースの読者を続けていて、１年に一度の「記念の集い」には夫婦で参加していた。そして必ず“カンパ”はしてくれて、私たちへの声掛けもしてくれていた。思えば、私たちの周りにはこうした年老いてもなおかつ、子供や孫たちの時代の平和の為にささやかな願いを注いでくれている人たちがたくさんいるのではないだろうか。（私もその一人になってきている）たぶん明治以降の日本の近代化の中で、民主主義や人権を守るために、命を奪われていった多くの名も知れぬ民衆が多くいたと私は知っている。私たちの憲法９条を守って、日本の未来を平和な安全な日本に引き継いでいくには、私たちには若い人はもちろんのこと、今日述べている歳老いた人たちのお知恵や経験をも大切にして、地道な息の長い運動がさらに求められていると思います。

竹の台　　米田

高市内閣が発足して１年が経過しました

米国追随

軍拡産業

物価高

数の力



◆11月のつどい　11月22日（日）

ざっくばらんにお話ししましょう**「気楽なおしゃべりの会」**

西区文化センター2階第1会議室　14：00～16：00

参加費300円　※詳しくはチラシをご覧下さい

◆12月のつどいはありません

【他団体の催し】　東灘、灘区９条の会主催

11月29日（日）アレン・ネルソン上映会

2027年1月9日（土）伊藤千尋氏講演会

※同封のチラシをご覧下さい

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲No! 九条 壊すな！」の アピール行動を続けています

★次回は2026年12月1日(火)17:30～18:30（ペンライトアクション）

「阪神タイガース、悲願のセ・リーグ連覇！」

我が阪神、故障者続出で日本シリーズ進出はなりませんでしたが、それはさておき（涙）、お蔭様で、悲願のセ・リーグ連覇を達成しました。長いプロ野球史で、連覇無しは横浜と阪神だけでしたので、やっとダメ虎の不名誉な伝統から脱することが出来ました。

さて、わが虎キチ歴も半世紀超です。学生時代、アンチ巨人・東京嫌いの反骨精神が高じ、以来、虎と苦楽を共にしてきました。巨人 V9 の後塵を拝した 1965-73 年（2位5回、3位3回）、1985年の一瞬の輝き後の「神宮の悲劇」の1992年、そして、7年で最下位6回を数えた「暗黒時代」（1995-01）、巨人に13ゲーム差をひっくり返された「魔の2008年」・・・もうヤキモキは勘弁して！何度、虎キチから足を洗おうと思ったことでしょう。でも、飼い犬にタイガーと名付け、甲子園球場に年間シートを得て海外の友人も招待し、国際親善にも努めてきました。

一方、かみさんは熊本出身で、元々川上巨人ファンでしたが、今では僕以上の虎キチになっています。従って、阪神が勝った日は、世界一幸せな夫婦で、負けた日はお通夜のように会話が消えます。子供達も、可哀そうに虎キチの因果を受け継いでくれています。朝の挨拶は「阪神あかんな」で始まります。弱かった頃は GW を過ぎると、「また来年、来年」でした。それが最近は生え抜きで中軸を固め、個人成績もほぼ独占、観客数も断トツで恵まれた時代になりました。生きてきた甲斐があったというものです。

でも伝え聞くのが、阪神で初代巨人キラーだった西村幸生投手、巨人で沢村賞の沢村栄治投手など多くの一流選手を先の戦争で失ったことです。それを思うと野球を楽しめるのも平和の賜物、**甲子園球場と憲法9条**のお蔭と、心より感謝する日々です。（竹の台　タイガー）



10月のつどい　*ネパールに見る気候危機　先進国の「つけ」にあえぐ小国*

8月に発生したネパール大規模土石流災害、千葉豪雨災害、6月のヨーロッパ熱波など気候変動による災害が世界的に拡大しています。

10数年来ネパールの日本語学校でボランティア活動に携わり災害当日もネパールに滞在されていた、当会会員の島田徹さんからネパールの現状と現在の気候危機の課題について話をいただきました。（参加28名）

ネパールは出稼ぎ労働が GDP の 23%を占め100民族（100言語）の国でみんな英語ができることから多くの若者が海外に流出している現状、溶けた氷河で形成された氷河湖が毎年のように決壊（今回は氷河と山体が一体的に崩壊）していることなど二酸化炭素排出量0.1%未満の小国（ツバル等）が気候変動でより大きな被害を受けている状況などが指摘されました。

日本の現状については二酸化炭素排出総量は世界5位だが国土面積換算では断トツの1位であること、人為的な気候変動をあたかも自然現象であるかのように異常気象と言い、再生可能エネルギーへの転換にも極めて消極的（主要国中最下位）で災害関連予算よりも防衛費（軍事費）拡大に邁進、避難所環境は30年前とほぼ変わらず劣悪であることなどが指摘されました。

また当会会員の西元善郎さんより地球温暖化の問題整理としてCOPなどの国際会議における科学的コンセンサスの進捗状況、排熱行為など地表温度の上昇が温暖化の原因でなく（熱は赤外線として宇宙に放出されるため）、温室効果ガス・特に二酸化炭素が温暖化の主因であることなどの補足説明がありました。（ヒロシ）

★ 当日の災害カンパ計74000円、ありがとうございます。直接ネパールの首相災害口座に振り込みます。

ジョー句

お題「削除」

官僚や　黒塗り削除　先ず覚え（現妻）

自由題

戦争を　知らぬ幸せ　子や孫に（伝伝）

「戦犯」が　裁判官を　脅す世に（ICC）

12月のお題は「忘れる」

y-onishi@live.jp

投句をお待ちしています。

2026 年 11 月発行：西神ニュータウン 9 条の会

〔HP〕http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai

〔連絡先〕TEL　090-3359-0776（大西）

HPへリンク